

# 地域ぐるみで交通安全



元町地区で行われた「冬期違法・迷惑駐車防止合同パトロール」。元町地区では平成11年から実施しています

まだまだ冬本番です。冬期間は、積雪・凍結路面でのスリップ事故が多発します。また、夕暮れから夜間にかけての事故が多くなる季節でもあります。今月は、交通事故を少しでも減らそうと区内で行われている交通安全の取り組みを紹介します。



## 冬こそ追放！迷惑駐車

「ちよつとだけだから」、「ほかの人も止めている」。そんな軽い気持ちの路上駐車が原因で、消防車や救急車が早く現場に近づけなかったり、事故が起きたりしているほか、冬は除排雪作業の妨げにもなっています。そんな迷惑駐車を少しでも減らす

うと、地域で取り組みを始めたのが栄東地区です。住宅地などに路上駐車が目立ち始めたことから、昨年一月に、初めて地域の交番の協力を得て「迷惑駐車防止パトロール」を行いました。地区内の四つの分区分ごとに、住民と市などが協力して行う除雪パトナーシップ制度を利用した道路排雪の前に見回りを実施。町内会の役員が約二時間かけて、チラシやステッカーを駐車車両のワイパーに挟み込んだり、持ち主に車の移動を直接お願いしたりしました。さらに、雪が降ったときにも随時パト

ールを行っているそうです。

「たった一台の路上駐車のために、多くの人が迷惑します。特に通学路では、歩道の除雪ができないと、子どもたちにとって危険なので、絶対にやめてもらいたい」と話すのは、栄東連合町内会総務部長の小椋登（のぼる）さんです。同地区では、これからも粘り強く運動を続けます。



「一人ひとりがマナーを守れば住みよい街になるはず」と小椋さん

そのほか元町と札幌の両地区でも住民・行政・除雪関係者が協力して冬期の迷惑駐車防止に取り組んでいます。路上駐車は、地域の方々の迷惑になるばかりでなく、命や財産にかかわる重大な事故につながります。絶対にやめてください。